

令和4年度第1回地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会会議録

日 時 令和4年7月28日(木) 午後1時30分から午後7時00分まで

場 所 東金市役所 第1庁舎3階 第1委員会室

<出席した委員>

井口 豪	千葉県健康福祉部保健医療担当部長
川島 智	千葉県病院局副病院局長
佐久間 一夫	九十九里町議会議員
佐野 勇一	株式会社ちばぎん総合研究所経営コンサル第一部担当部長
鈴木 紀彰	国保直営総合病院君津中央病院名誉院長
塚瀬 一夫	東金市議会議員
樋口 幸一	公認会計士
古川 洋一郎	山武郡市医師会副会長
横手 幸太郎	千葉大学医学部附属病院長
和野 千枝子	城西国際大学・看護学部教授

(敬称略、五十音順)

<欠席した委員>

寺口 恵子	公益社団法人千葉県看護協会会長
-------	-----------------

会議概要

- 1 開 会 (午後1時30分) 司会 東金市企画政策部 酒井医療担当部長
- 2 あいさつ ・設立団体 東金市 井上副市長、九十九里町 大矢町長
・地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター 河野理事長
- 3 正副委員長選任 委員による互選により、委員長に鈴木委員、副委員長に樋口委員及び古川委員をそれぞれ選任
- 4 報 告
・東千葉メディカルセンターの令和3年度に係る運営状況等について
- 5 議 事
・第1号議案
地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター
令和3事業年度に係る業務実績報告書に対する意見聴取について
・第2号議案
地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター
第3期中期目標に係る業務実績報告書に対する意見聴取について
・第3号議案
地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター
令和3事業年度財務諸表に対する意見聴取について
- 6 そ の 他 特になし
- 7 閉 会 (午後7時00分)

○主な意見・質疑等（概要）

報告 東千葉メディカルセンターの令和3年度に係る運営状況等について

⇒特になし

議事・第1号議案 令和3事業年度に係る業務実績報告書に対する意見聴取について

・第2号議案 第3期中期目標に係る業務実績報告書に対する意見聴取について

■令和3事業年度業務実績

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するため
とるべき措置 4

■第3期中期目標期間業務実績

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 4

中項目1 救急医療

令和3事業年度業務実績	4	第3期中期目標期間業務実績	4
-------------	---	---------------	---

●令和3事業年度業務実績について救急車応需率が低下している。要因をお伺いしたい。

⇒応需数については、令和2年度は2,592件、令和3年度は2,866件となり、応需数は増加している。応需率が低下した要因として、新型コロナウイルス感染症の専用病床の確保のため、一般病床数に制限をかけていたことにより、応需率が低下した。【鈴木事務部長】

⇒応需率という観点からすると、コロナ病床は数が少ないため、必然的に患者の受入れを断る件数も多くなる。そのため、応需率の変動も大きくなることとなり、応需率の低下につながったと考えられる。【河野理事長】

●令和3事業年度業務実績について、地域救急医療の中心的役割を果たすためには、救急車応需率を上げていく必要があると捉えている。救急車応需率が低迷している原因、また、三次救急医療を提供している貴院において救急搬送重症患者受入率が44.6%に留まっている原因の分析ができていようであれば教えていただきたい。

⇒原因の分析のひとつとして、山武郡内で発生した救急搬送重症患者の受入率のため、患者の状況により当院にオンコールがない場合や、救急隊が三次救急と判断しても、病院側で状況を確認したところ二次救急であると判断し断るケースもある。【鈴木事務部長】

●令和3事業年度実績について、コロナ禍においても外来患者数は増加している。しかし、病床の稼働率が低下していることについて、関係を伺いたい。

⇒可能な限り稼働率を上げていくという事を基本としているが、新型コロナウイルス感染症への対応による看護比率といった要因等により、稼働率が低下していると考えられる。【鈴木事務部長】

●DPCを採用していると入院日数が長引くことで、点数が下がることとなる。そのため、入院日数がある一定の日数にとどめる必要があると思うが、影響はあるか。

⇒在院日数については、計画では10日程度であるが、実績は8日程度である。今後も可能な限り患者を受け入れられるよう体制を整備していく。【鈴木事務部長】

⇒病床稼働率と在院日数の関係について、一般病床とコロナ専用病床の看護比率が異なることから、看護師を一般病床からコロナ専用病床に投入することとなる。実際の病床数は常に変動しており、分母となる病床数は一定であることから、実際の数値より低めに出てくる。【河野理事長】

中項目 2 地域の中核病院として担うべき医療

令和 3 事業年度業務実績	4	第 3 期中期目標期間業務実績	4
---------------	---	-----------------	---

(1) 小児医療・小児救急医療

令和 3 事業年度業務実績	3	第 3 期中期目標期間業務実績	3
---------------	---	-----------------	---

●令和 3 事業年度業務実績について、計画を実績が大きく下回っている。要因をお伺いしたい。
⇒新型コロナウイルス感染拡大の影響から、インフルエンザ等の流行性の感染症患者の減少、また、受診を控える情勢が要因の一つとして推測される。【鈴木事務部長】

●令和 3 事業年度業務実績について、新型コロナウイルス感染症以外で減少につながる要因はあるか。来院した患者は基本受け入れているという認識で良いか。

⇒患者数の減少について、少子化による患者の絶対数の減少も一つの要因であると考えられる。来院患者については、ご認識のとおり。【鈴木事務部長】

⇒新型コロナウイルス感染症の影響にはなると思うが、生活様式の変化に伴い、感染症自体が減少していること、また、ぜんそく等の受診数も激減していることにより、当センターだけでなく、全体的に患者数が減少している。【河野理事長】

(2) 周産期医療

令和 3 事業年度業務実績	4	第 3 期中期目標期間業務実績	4
---------------	---	-----------------	---

●令和 3 事業年度業務実績について、実績が計画値を超えていないにもかかわらず、自己評価を 4 とした根拠をお伺いしたい。

⇒数値としては、計画値を超えることができなかったが、周産期医療の体制という面で、地域で唯一の分娩対応できる病院として、24 時間、365 日夜間の帝王切開などの緊急手術にも対応できる体制を維持していることを評価し、自己評価の根拠とした。また、数値の減少としては、新型コロナウイルス感染症の影響により、里帰り出産の減少が要因と考えられる。【鈴木事務部長】

●体制という事で評価をするのであれば、定量的な数値目標を立てている必要性について、疑問を感じる。

●令和 3 事業年度業務実績について、産婦人科医師、麻酔科医が確保でき 24 時間 365 日対応できるということなので、目標を達成されることを期待している。

●第 3 期中期目標期間業務実績について、周産期医療で入院される場合、連帯保証人が必要となるとある市民より伺った。周産期医療に関わらず、全般の入院治療に関わることだと思いが、制度について、お伺いしたい。

⇒連帯保証人の関係について、診療科によらず、入院にあたり一律で求めているものとなる。

民法の改正など、考慮すべきことは様々あるが、他の病院の運用体制といったものを今後研究

していく。【鈴木事務部長】

(3) 災害医療

令和3事業年度業務実績	4	第3期中期目標期間業務実績	4
-------------	---	---------------	---

●令和3事業年度業務実績について、災害医療は新型コロナウイルス感染症の対応を考慮し、評価したこととなっているが、新型コロナウイルス感染症は、感染症医療ではないか。災害医療と感染症医療の自己評価の違いについて、お伺いしたい。

⇒災害医療の項目内には、DMATの派遣対応という事も含まれているため、新型コロナウイルス感染症の対応も災害医療に含んで評価させていただいている。【鈴木事務部長】

●令和3事業年度業務実績について、計画と実績の違いとなった要因についてお伺いしたい。

⇒新型コロナウイルス感染症の影響により研修自体の開催数が減少したことが要因となった。
【鈴木事務部長】

(4) 感染症医療

令和3事業年度業務実績	5	第3期中期目標期間業務実績	5
-------------	---	---------------	---

●新型コロナウイルス感染症対応のための専用病棟の設置など、要請に応じた患者の受け入れを積極的に実施していただいたことから、高く評価させていただいた。

●令和3事業年度業務実績について、HIV、結核の対応状況はどうだったのか。結核患者モデル病床にどの程度、患者を受け入れたのか。また、HIV患者の積極的な受け入れについて、今後どう取り組んでいくのか。

⇒実績として、結核患者については34人の受け入れとなり、HIVの患者の受け入れは0人であった。HIVの患者の受け入れについては、千葉大学附属病院と連携のうえ、対応していきたい。【鈴木事務部長】

●新型コロナウイルス感染症対応について、地域の中核病院としての役割を果たしている。

●第3期中期目標期間業務実績について、感染症医療として、トレーラーハウスを活用して診療を行っていくという計画があったが、現在はどうのような状態か。また、今後の利活用について、お伺いしたい。

⇒東千葉メディカルセンターに設置しているトレーラーハウスについては、その中で検査等を実施できる状態となっているが、トレーラーハウス自体が当センターの所有物ではないため、関係機関と協議をしながら活用について検討していく。【鈴木事務部長】

(5) 急性期医療の効率化に必要な病棟運営

令和3事業年度業務実績	4	第3期中期目標期間業務実績	4
-------------	---	---------------	---

●令和3事業年度業務実績について、地域医療連携室の訪問施設件数が目標に達していないが、新型コロナウイルス感染症の影響がある中において、リモート会議の活用等を検討したのか。

⇒新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、直接訪問することが難しい状況であったため、近隣医療機関等へ外来担当医予定表、診療科案内、年報を送付し、情報発信を行った。【鈴木事務部長】

⇒Zoom等を活用し、専門の研究会や奨励会といったものを近隣の医師と実施しており、これからも件数を増やしていきたい。【中川副センター長】

中項目3 高度専門医療

令和3事業年度業務実績	4	第3期中期目標期間業務実績	4
-------------	---	---------------	---

(1) 4疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病）への対応

令和3事業年度業務実績	4	第3期中期目標期間業務実績	4
-------------	---	---------------	---

●令和3事業年度業務実績について、計画値を下回っているが、法人の自己評価の根拠をお伺いしたい。5という評価はこれ以上改善の余地がないという認識である。

⇒医療提供体制全体の維持という事を評価させていただいた。【鈴木事務部長】

●今後は定量的な目標を掲げている項目について、目標を達成できなかった場合の自己評価について、評価の根拠を明確に説明していただきたい。

●令和3事業年度業務実績について、がん診療に対する医療従事者の充実や育成について、脳卒中の回復期の患者の受入先を確保について、糖尿病治療について食事療法、運動療法、薬物療法等を組み合わせた教育入院プログラムを作成し、チーム医療による糖尿病コントロール、合併症予防に対応した専門医療を提供することについて、年間計画に記載されている内容が自己評価欄に記載がないため、説明を希望する。

⇒がんについて、現場の取り組みとして医師、看護師による勉強会を実施している。次に脳卒中について、患者・家族の意向に沿いながら、スムーズに次の療養場所に移行できるよう関係機関との連携を密にして退院支援を行っており、脳卒中以外も含まれるが、実績としては412人となった。最後に糖尿病について、チーム医療という中で、多職種連携による専門医療を提供した。【鈴木事務部長】

●井口委員の意見と同様に、5という評価はこれ以上改善の余地がないという認識であるため、4の評価とするのが適当であると考えます。

(2) 高度で専門性の高い医療

令和3事業年度業務実績	4	第3期中期目標期間業務実績	4
-------------	---	---------------	---

●令和3事業年度業務実績について、「急性期医療の安定提供及び地域の中核病院として高度な総合医療を提供した。」とあるが、そのように評価した具体的な根拠はなにか。

⇒第三次救急医療を提供し、複数の診療科や高度な医療機器を備え、入院や高度・専門的な検査を行い、近隣の診療所や他院との連携を行ったことを評価した。【鈴木事務部長】

●令和3事業年度業務実績について、チーム医療の推進では、NST以外のチーム整備は進められていないのか。また、他にあるようでしたら、成果を含めて教えていただきたい。

⇒褥瘡委員会や糖尿病治療支援チーム等をはじめとした支援チーム・委員会を整備し、チーム医療を推進している。具体的には、褥瘡委員会は隔月で定例会を行っており、事例を報告し改善を進めている。【鈴木事務部長】

●センターのHPを拝見させていただき、NST以外にも褥瘡委員会や糖尿病治療支援チームが活動していることが推測できた。そのような医療チームの活動も記載していただけると高い評価

につながると考えられる。

- 資料の記載だけだと、最上位の評価をするための根拠には乏しく感じてしまう。評価に値する活動があるのであれば、より詳細に記載していただきたい。

中項目4 安全・安心で信頼される医療

令和3事業年度業務実績	3	第3期中期目標期間業務実績	3
-------------	---	---------------	---

(1) 医療安全対策の徹底

令和3事業年度業務実績	4	第3期中期目標期間業務実績	4
-------------	---	---------------	---

- 令和3事業年度業務実績について、レベルごとの件数により、評価が左右されることから、インシデント・アクシデント公表数について、レベルごとの件数をご教示いただきたい。また、「その他4件」の具体的な内容は何かお伺いしたい。

⇒レベルごとの件数について、3 bが25件、4 aが0件、4 Bが0件、5が0件であった。また、「その他4件」については、医療スタッフの伝達ミスによる対応の遅れであった。【鈴木事務部長】

- 令和3事業年度業務実績について、インシデント・アクシデントレポートの職種別報告件数を教えていただきたい。HPへの掲載による公表数ということでもよろしいか。

⇒職種別については、医師15件、看護師10件の計25件であり、HPで公表しているものとなる。【鈴木事務部長】

- 第3期中期目標期間業務実績について、目標期間内のインシデント・アクシデント数の変遷を評価に記載していただきたい。また、目標期間の院内感染の発生状況をお伺いしたい。

⇒院内感染の発生状況について、令和3年度末に1件の院内感染が発生し、患者とスタッフの両者に感染した。【鈴木事務部長】

(2) 患者の視点に立った医療の実践

令和3事業年度業務実績	3	第3期中期目標期間業務実績	3
-------------	---	---------------	---

- 令和3事業年度業務実績について、患者満足度調査の回答数や意見箱の回収数の記載があるが、その結果をどのように反映しているのか、お伺いしたい。

⇒アンケートの結果については、院内の掲示板等で周知をしている。具体的な患者満足度調査の要望の中では診療までの待ち時間の短縮や、説明の際の言葉の行き違い等の指摘があったが、接遇についてお褒めの言葉をいただいているケースもある。そのような結果を踏まえ、事務や設備、接遇等の改善に努めている。【鈴木事務部長】

- 令和3事業年度業務実績について、具体的に患者満足度調査の結果を業務に取り入れた実績があればお伺いしたい。

⇒例として、病棟から売店へ向かう道中に縁石があり転倒の危険性があるというご意見に対して、縁石を着色することで転倒事故防止対策を行った。【鈴木事務部長】

- 令和3事業年度業務実績について、意見箱に投書されたものの中で、苦情等の内容はどのようなものがあるのか。

⇒苦情というより要望であるが、院内にフリーWi-Fiを設置してほしいという要望があったため、

設置については、今後の検討課題としている。【鈴木事務部長】

- 令和3事業年度業務実績について、意見箱の回収数が1週間に1枚程度である。回収数が少ないのは、設置している場所に問題があるのではないかと感じる。また、64件という数字をどのように捉え、更に意見を回収する必要があるとの認識を持っているのか、更に意見を回収する方策はあるのか、お伺いしたい。

⇒意見箱は総合窓口脇及び救急外来に設置しているため、場所がわかりにくいということは考えにくい。意見箱に投書させた意見の反映状況を周知することが必要であると認識している。【鈴木事務部長】

- 令和3事業年度業務実績について、満足度を数値化しているようであれば、提示していただきたい。

⇒現在集計中ではあるが、医師への満足度は、「満足」が80.6%、「やや満足」が6.5%、看護師への満足度は、「満足」が74.2%、「やや満足」が12.9%となっている。【鈴木事務部長】

- 第3期中期目標期間業務実績について、インフォームド・コンセントの徹底は何により評価されているのかお伺いしたい。

⇒病状等の説明内容について、7割程度の患者の方から「満足」、「やや満足」の回答をいただいたことを評価している。【鈴木事務部長】

(3) 医療の標準化と診療情報の分析

令和3事業年度業務実績	4	第3期中期目標期間業務実績	4
-------------	---	---------------	---

- 令和3事業年度業務実績について、クリニカルパスの利用件数について、東千葉メディカルセンタークラスの病院であると、この件数は多いのか少ないのかお伺いしたい。

⇒他の病院との比較については回答しかねるが、一般の患者については基本的にクリニカルパスを活用している。しかし、当院の性格上、救急患者が入院患者の5割を超えているため、すべてをクリニカルパスに落とし込むことは難しいのが現状である。【中川副センター長】

(4) 法令・行動規範の遵守（コンプライアンス）

令和3事業年度業務実績	3	第3期中期目標期間業務実績	2
-------------	---	---------------	---

- 令和3事業年度業務実績について、各種マニュアルの整備及び規定の整備とあるが、どのようなものを整備したのか、また、今後どのような整備を予定しているのかお伺いしたい。

⇒外部の公認会計士に委託し、業務の洗い出し、改善指導を受けることでマニュアル化を含んだ業務の適正化へ向けた取組を進めている。また、具体的に規程としては職員の給与のコロナ手当やオリンピック対応の特例の他、内部統制推進規程、リスク管理規程、内部通報に関する規程、契約監視委員会設置規程を整備している。【鈴木事務部長】

- 令和3事業年度業務実績について、第三者委員会の提言を受け、各種規程及び体制の整備に取り組んでいただいた。コンプライアンスは非常に重要であるため、規程等を整備しただけではなく、適切な運営に努めていただきたい。

- 第3期中期目標期間業務実績について、不適切な業務運営に係る未処理の事案について、状況をお伺いしたい。また、処理済、未処理の事案の件数はわかるか。

⇒第3者委員会による報告書により指摘された事案については、顧問弁護士と相談の上、民事面

においては医事委託業務に係る訴訟を提起した他、条件が整い次第順次取り組んでいる。また、訴訟の方法等により事案の件数が変わることもあることから、具体的な件数については整理が進んでいないが、一例として契約事務の適正化により契約の透明性を確保すること等を行っている。【鈴木事務部長】

●第3期中期目標期間業務実績について、東千葉メディカルセンターとして改善の道半ばであると考えているが、自己評価「3」とした根拠をお伺いしたい。

⇒業務改善計画に基づき、外部の公認会計士の指導を受け、業務改善への取り組みを進め、医事委託業務の入札実施等、更新期間を迎えた契約について順次見直しを検討、実施し、適切な業務運営に努めていることから、複数同時並行で対応にあたった点を評価した。【鈴木事務部長】

●問題に対しての対応状況は、期待を含んでいるが良い方向に進んでいると思われる。評価については、短期的視点で評価するもの、長期的な視点で評価するものがあるため、評価を分けて考えても致し方ないと思う。

●この問題が抱えている様々な課題は、病院内外の心配を集めるものとなり、その課題をひとつずつ解消していこうという意思や実績がよくわかった。しかし、井口委員のご意見にもあったように、令和3年度という視点で見ると改善への状況が見て取れることから「3」の評価でいいと思うが、中期目標期間という視点で見ると「2」の評価が適当であると思う。

中項目5 患者・住民サービスの向上

令和3事業年度業務実績	3	第3期中期目標期間業務実績	3
-------------	---	---------------	---

(1) 利用しやすい病院づくり

令和3事業年度業務実績	3	第3期中期目標期間業務実績	3
-------------	---	---------------	---

●患者満足度調査で、患者や来院者が院内で快適に過ごせる環境に関する質問項目があれば数値比較をしていただきたい。

(2) 患者の待ち時間への配慮

令和3事業年度業務実績	3	第3期中期目標期間業務実績	3
-------------	---	---------------	---

●令和3事業年度業務実績について、各種待ち時間の縮減に努めたとあるが、患者の待ち時間は把握できているのか。

⇒患者満足度調査において調査項目を設けており、回答内容から約7割が1時間以内、約2割が1以上～2時間未満となっている。【鈴木事務部長】

●第3期中期目標期間業務実績について、医師、看護師等の医療従事者と事務職員との連携強化・役割分担の明確化などにより窓口業務を効率化とあるが、実績についてお伺いしたい。

⇒具体的な取り組みとして、診療する患者数が非常に多い医師に対して医師事務の職員をサポートとして配置しており、具体的な数字は整理できていないが、待ち時間の減少に貢献できていると感じている。【中川副センター長】

(3) 患者・来院者の利便性への配慮

令和3事業年度業務実績	3	第3期中期目標期間業務実績	3
-------------	---	---------------	---

●令和3事業年度業務実績について、送迎車両の利用者数が、1日平均5人弱と少ないようであるが、意見箱等において要望等はないのか。また、送迎車両の周知が足りないように感じるが、法人の考えをお伺いしたい。

⇒意見箱では、送迎車両の利便性の向上についての意見は見受けられなかった。また、周知については、病院のインフォメーションストック等で周知を行っているが、更なる周知のための方策を検討していく。【鈴木事務部長】

●ロビー等での院内案内板等についての改善状況はどうか。

⇒会計の呼び出し番号表示の他、お知らせ、外来案内・休診案内等、項目毎に分けてディスプレイを設置しており、フォントサイズや色、イラスト等を使用し、視覚的に内容を把握しやすいよう配慮している。【鈴木事務部長】

●第3期中期目標期間業務実績について、開院当初から丘山台は交通不便地であるという大きな課題が存在している。外来患者が通院しやすい病院づくりについて、法人の考えをお伺いしたい。また、設立団体も含め、利便性の向上に努めてもらいたい。

⇒送迎車両の一層の周知はもとより、送迎車両の増便について、公共交通機関との役割分担を考慮する必要がある、行政、公共交通事業者を含めた枠組みの中で検討を進めていきたい。【鈴木事務部長】

(4) 住民への保健医療情報の提供

令和3事業年度業務実績	3	第3期中期目標期間業務実績	3
-------------	---	---------------	---

●令和3事業年度業務実績について、新型コロナウイルス感染症の影響により、市民講座等は見送られたものの、ホームページ等の発信を充実させていることは、評価に値すると考えられる。

●令和3事業年度業務実績について、令和3年度実践がないため、「2」とした。開催方法等の検討が必要ではないか。

●令和3事業年度業務実績について、昨年度も新型コロナウイルスの影響がある中でも、出来ることはないか検討してほしいと指摘しているが、市民公開講座や糖尿病教室を、オンラインで実施することについて検討したのか。

⇒オンラインによる公開講座の実施の有益性について認識はあるが、過去の参加状況から受講者には高齢者が多く、ネット閲覧環境に課題もあることから実現には至らなかったが、今後はウィズコロナ、アフターコロナといった様々な状況変化を想定し、情報発信体制について様々な方法を検討していく。【鈴木事務部長】

(5) 広報活動の充実

令和3事業年度業務実績	3	第3期中期目標期間業務実績	3
-------------	---	---------------	---

●この地域において、新型コロナウイルス感染症の対応に一番尽力いただいたのは、東千葉メディカルセンターであると認識している。しかし、コロナウイルスという病気自体の情報を発信できなかったことが残念であると感じた。

(6) 職員の接遇向上

令和3事業年度業務実績	3	第3期中期目標期間業務実績	2
-------------	---	---------------	---

- 令和3事業年度業務実績について、新型コロナウイルス感染症の影響により、計画通りに研修が実施できないことは推察されるが、対面式でない動画配信等の研修も検討したらどうか。
- 令和3事業年度業務実績について、自己評価の根拠についてお伺いしたい。
⇒新型コロナウイルス感染症の影響下においても、看護部のみにも留まったが接遇研修を実施したことを評価した。【鈴木事務部長】
- 研修をオンラインで実施することなども検討いただきたい。
- 看護部で接遇研修を実施されていることを評価する。このような状況だからこそ必要な研修であり、実施可能な方法を検討することを期待する。

中項目6 地域医療への貢献

令和3事業年度業務実績	4	第3期中期目標期間業務実績	4
-------------	---	---------------	---

(1) 地域医療機関等との連携推進・・・特になし

令和3事業年度業務実績	3	第3期中期目標期間業務実績	3
-------------	---	---------------	---

(2) 保健福祉行政等との協力

令和3事業年度業務実績	4	第3期中期目標期間業務実績	4
-------------	---	---------------	---

- 令和3事業年度業務実績について、自己評価の根拠についてお伺いしたい。
⇒新型コロナウイルス感染症の影響下においても、自治体の保健福祉施策や、広域消防への協力を行ったことを評価した。【鈴木事務部長】

(3) 疾病予防の取組

令和3事業年度業務実績	4	第3期中期目標期間業務実績	4
-------------	---	---------------	---

- 新型コロナウイルス感染症の個別ワクチン接種は実施しないのか。
⇒医療従事者への接種を行った他、設立団体が実施する集団接種に医療スタッフ等を派遣しているが、医療の役割分担の観点から、現在のところ個別接種を行う予定はない。【鈴木事務部長】

中項目7 メディカルセンターの段階的な診療科の開設と病棟の開棟

令和3事業年度業務実績	4	第3期中期目標期間業務実績	4
-------------	---	---------------	---

- 令和3事業年度業務実績について、小児病棟の開棟に向けた準備状況はどうか。
⇒小児医療の需要及び診療体制を踏まえると、病棟として単独で小児病棟の運営を行うことは難しいと考えており、現在は混合病棟として数名の感染症やアレルギー検査等の小児患者の受入を行っている。【鈴木事務部長】
- 令和3事業年度業務実績について、未開設である眼科、泌尿器科の開設の検討状況はどのような状況か。また、泌尿器科の患者についてはこの地域では入院できる病院が無い場合、泌尿器科の開設が早急に求められる。
⇒未開設の診療科については、具体的な医師の確保等を考慮しながら、長期的な検討が必要であると考えている。【鈴木事務部長】
⇒高齢化が進行すると前立腺がんなどの患者が増えてくることが予想されるため、泌尿器科の開

設は必要であると考えている。しかし、治療を行うにあたって、ダヴィンチといった手術支援システムの導入が必要であり、機器を導入するためには、費用は勿論のこと、機器を設置するスペースの確保という問題もあるため、慎重に検討を進めていく。【河野理事長】

⇒君津中央病院においては、現在の手術室にてダヴィンチの導入ができた。しかし、当初は千葉大学からの医師の派遣が無く、横浜市立大学からの派遣であった。その後、千葉大学からの医師の派遣が行われるようになったが、医師の確保という課題もある。また、現在では、泌尿器科だけでなく、他の診療科でもダヴィンチを利用することも多くなっているため、今後は、標準装備になっていくのではないかと想定される。【鈴木委員長】

■令和3事業年度業務実績

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置 3

■第3期中期目標期間業務実績

第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項 3

中項目1 効率的かつ効果的な業務運営体制の整備

令和3事業年度業務実績	2	第3期中期目標期間業務実績	2
-------------	---	---------------	---

(1) 効率的かつ効果的な業務運営体制の整備

令和3事業年度業務実績	3	第3期中期目標期間業務実績	2
-------------	---	---------------	---

●令和3事業年度業務実績について、昨年度、各種業務委託の見直し、契約関係の見直し、医療機器の計画的な整備を実行するとの発言があったが、各々についての対応状況及びその成果はどうか。

⇒医療機器等整備委員会を活用し、医事委託業務の業者選定等について検討を行い、入札を実施したことをはじめ、更新時期を迎えた契約を中心に順次業者選定方法等の見直しを進めている。

【鈴木事務部長】

●令和3事業年度業務実績について、各部門責任者からのヒアリングの実績が適宜実施と記載されているが、実績を教えてください。

⇒各部門からのヒアリングについて、毎朝実施した執行部会、及び19回開催した運営会議により、各部門責任者との意見交換を通して運営状況や経営等に関する課題をリアルタイムで審議を行った。【鈴木事務部長】

●令和3事業年度業務実績について、職員を対象とした運営状況の説明会が目標値より多く開催されているなど、経営健全化に向けた取り組みが評価できると考える。

●令和3事業年度業務実績について、新たに組織した委員会は委員会規程の作成に留まったと理解して良いか。であるならば早期の開催を希望する。職員を対象とした運営状況の説明会を3回開催していることから全職員が経営に参画できる組織風土が醸成されることを期待したい。
⇒委員会の開催については、規程の作成に留まるものではないので、開催方法や日程を決定し、今後開催できるよう、推進している。【鈴木事務部長】

(2) 人員配置の弾力的運用

令和3事業年度業務実績	3	第3期中期目標期間業務実績	3
-------------	---	---------------	---

●令和3事業年度業務実績について、令和2年度と比較して、時間外勤務時間が増えた要因はなにか、また、目標達成のための具体的な対策について、お伺いしたい。

⇒新型コロナウイルス感染症対応にかかる業務量の増大、及び職員の自宅待機等による一時的な人員不足への対応として業務時間の増加などが考えられる。また、令和2年度は達成できているところを鑑み、コロナ禍が落ち着けば状況は改善されると推測している。【鈴木事務部長】

(3) 人事評価制度の導入

令和3事業年度業務実績	2	第3期中期目標期間業務実績	2
-------------	---	---------------	---

●令和3事業年度業務実績について、人事評価制度の導入ができていないということは、評価は「1」とであると考えるが、自己評価の根拠をお伺いしたい。

⇒結果として規程の整備を完了することができなかったが、設立団体等より関連資料の収集を行い、人事評価制度の導入に向けて内部で研究、検討を進めていることを評価した。【鈴木事務部長】

(4) 外部評価

令和3事業年度業務実績	2	第3期中期目標期間業務実績	2
-------------	---	---------------	---

●令和3事業年度業務実績について、経営健全化会議は計画上4回開催される予定のところ、1回しか開催されなかった経緯を伺いたい。また、今後は4回を目指して開催していくという認識でよいか。

⇒不適切な業務運営に係る第三者委員会による提言に基づく業務改善等、病院としての経営立て直しの取り組みを優先したため、1回の開催となった。他の会議の開催状況や内容を考慮しながら、開催回数等を検討していきたい。【鈴木事務部長】

●令和3事業年度業務実績について、専門家の活用や病院機能評価の評価項目活用等努力されていることが伺える。しかし、経営健全化会議等による計画の進捗管理の徹底が不十分と考え「2」とした。

●第3期中期目標期間業務実績について、今後の健全な病院運営を行うために、経営健全化会議は最も重要な会議であるとする。今後、様々な開催方法を検討した中で、計画通り開催していただきたい。

中項目2 人材の確保

令和3事業年度業務実績	3	第3期中期目標期間業務実績	3
-------------	---	---------------	---

(1) 千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターとの連携・・・特になし

令和3事業年度業務実績	3	第3期中期目標期間業務実績	3
-------------	---	---------------	---

(2) 医師の確保

令和3事業年度業務実績	3	第3期中期目標期間業務実績	3
-------------	---	---------------	---

●令和3事業年度業務実績について、非常勤医師数が115人とあるが、非常勤医師はどういう

意味であるか。非常勤医師に対する年間支払額及び科目、非常勤医師を常勤にする考えはあるか、お伺いしたい。

⇒個々の医師の勤務形態により異なるが、常勤ではない医師を指している。非常勤医師に対する給与の支払額については、令和3年度において732,461千円となり、科目は賃金である。また、非常勤医師を常勤医師にすることについて、各診療科の状況を踏まえながら千葉大学と医師派遣について協議を重ねている。【鈴木事務部長】

⇒評価のため、週に5日8時間働いているという常勤換算の数値も記載する必要があると考える。

●令和3事業年度業務実績について、医師の働き方改革への検討状況はどうか。

⇒当直やオンコール対応を行っている非常勤医師について、派遣元の対応によって当センターの対応も大きく左右される。また、派遣元の病院においても対応が決まっていないところも多いため、派遣元の病院と折衝を行っていく。【中川副センター長】

●短期の臨床研修医である6名の期間、診療科についてお伺いしたい。

⇒救急科、総合診療科、消化器内科、小児科に月単位で配置している。派遣元とすると、千葉大学附属病院、千葉中央メディカルセンター、国立千葉医療センターである。【河野理事長】

●令和3事業年度業務実績について、臨床研修医の受入数が令和2年度実績に比べ、大幅に減少しているが、その原因はなにか。受入数を増加させるための対策は講じているのか、お伺いしたい。

⇒通年及び短期の受入を含めると、8名の臨床研修医を受入れており、計画値を達成している。また、令和2年度実績は救急科にて1ヵ月毎の受入れがあったため、数字が大きく伸びている。

【鈴木事務部長】

(3) 看護師の確保

令和3事業年度業務実績	3	第3期中期目標期間業務実績	3
-------------	---	---------------	---

●令和3事業年度業務実績について、新卒が36名、中途採用が8名で、新規採用者が44名であると思うが、新規奨学金受給者とはどのような意味かお伺いしたい。令和3年度に新規貸付を実施した受給者数という認識でよいか。

⇒法人の奨学金の貸付は単年度ごとに貸付を実施しており、令和3年度に新たに貸付を実施した人数ということであるため、ご認識のとおりである。【茅野看護部長】

●令和3事業年度業務実績について、どの病院においても看護師の確保は課題であると認識している。看護師の確保実績は、計画よりも下回ったものの、病院見学会や実習受け入れ、研修などに尽力されている。今後とも、さらに実績に結び付くよう、確保、定着に向けた取り組みをお願いしたい。

●令和3事業年度業務実績について、看護師の離職率が非常に高いと認識している。奨学金を受給した看護師について、返還免除となる年数を経過した後の離職率をお伺いしたい。

⇒奨学金返還免除者のうち退職者の割合は23.5%となり、退職者総数のうち奨学金受給者の割合は11%程度である。看護師全体の離職率は12.6%であり、全国平均より1.3%程度高い水準となっている。【茅野看護部長】

●令和3事業年度業務実績について、コロナ禍で養成機関への訪問、インターンシップの開催、病院見学会等が困難な状況であったと思うが、計画以上の成果を上げているが、看護師数、離

職率が目標に達成しなかったことは残念である。中学生を対象とした出前授業にもご協力いただき感謝申し上げます。

中項目 3 人材育成

令和 3 事業年度業務実績	3	第 3 期中期目標期間業務実績	3
---------------	---	-----------------	---

●令和 3 事業年度業務実績について、「認定看護師等の資格取得を促進する」とあるが、どのような方策で促進されたか。今後、どのような専門看護師、認定看護師、学会認定の看護師などの配置を計画されているのか、情報として伺いたい。

⇒認定看護師の資格取得の促進については、当センターの看護師の平均年齢は 32 歳程度であり、専門領域の経験年数が 5 年などと定められていることから、要件を満たす看護師が少ないことや、要件を満たしていても子育て世代であるため、募集に対して手上げが難しいという現状がある。しかし、認定看護師の活動内容のプレゼンテーションを行い、看護研究活動のサポート等、資格取得までの準備を看護部としてサポートを行っており、一部の領域については、講義と演習を修了した看護師に対し、看護部長名で修了証を発行している。今後の育成については、診療報酬の加算につながる専門、認定看護師の育成に努めていく。【茅野看護部長】

●令和 3 事業年度業務実績について、院内の技術力、質向上のために、認定看護師をどのように活用したのか、お伺いしたい。

⇒認定看護師について、一般病棟より救急時の対応などの研修や実技演習の講師として指導にあっている他、現場からの要請により、認定分野に係る助言、指導を行っている。【茅野看護部長】

●令和 3 事業年度業務実績について、計画を上回り、多くの職員が積極的に研修に参加している。

●第 3 期中期目標期間業務実績について、新たな人材の確保も重要だが、人材の定着促進も重要であることから、人材育成や職場環境の整備について、具体的な策を講じ、更なる充実を図っていただきたい。

中項目 4 働きやすい職場環境の整備

令和 3 事業年度業務実績	3	第 3 期中期目標期間業務実績	3
---------------	---	-----------------	---

●令和 3 事業年度業務実績について、令和 3 年度にメンタルヘルスケア研修の実施がなかったことから、今後は、上司のメンタルヘルスケアに関する理解や対応力の向上と職員のメンタル面のサポートを充実させていただきたい。

⇒全体を対象としたメンタルヘルスケア研修の件数は 0 件という実績となっているが、看護部においては、外部講師を招聘し、新規採用職員を対象としたメンタルヘルスケア研修を実施している。今後は、新規採用職員だけではなく、指導者層を対象とした研修を実施していきたい。

【茅野看護部長】

●令和 3 事業年度業務実績について、今年度は職員の満足度調査等を実施すべきであるとする。

●職員のニーズに合わせた勤務形態、人員配置等働きやすい職場環境づくりに努められていることを評価する。職員の満足度調査を是非実施していただきたい。

中項目 5 職員給与の原則

令和3事業年度業務実績	2	第3期中期目標期間業務実績	2
-------------	---	---------------	---

- 令和3事業年度業務実績について、具体的な制度見直しの検討状況についてお伺いしたい。また、今年度中には見直しができるのかお伺いしたい。

⇒ 給与イコール経営状況ということではないが、当センターは債務超過状態の不安定な経営状況であり、具体的な見直しについては、経営状況等を踏まえながら見直しを検討していく。【鈴木事務部長】

■ 令和3事業年度業務実績

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置 3

■ 第3期中期目標期間業務実績

第4 財務内容の改善に関する事項 3

中項目1 健全な経営基盤の確立

令和3事業年度業務実績	3	第3期中期目標期間業務実績	3
-------------	---	---------------	---

(1) 健全な経営基盤の確立

令和3事業年度業務実績	2	第3期中期目標期間業務実績	2
-------------	---	---------------	---

- 令和3事業年度業務実績について、多額の補助金収益があり、財務状況の改善が見られた。補助金収益を得ることも病院の努力であり、実力であるという見方もできるため、「3」という評価にしてもいいと考える。

- 令和3事業年度業務実績について、医業収支比率が100%に満たなかったが、医業収益は増加し、医業費用は削減できているため、法人の努力が伺える。

- 第3期中期目標期間業務実績について、新型コロナウイルス感染症の補助金がなければ、赤字である。経営改善をどのように考えているのか。

⇒ ご指摘のとおり補助金を除いた場合、支出が収益を上回っている状況は認識している。経営改善へ向けて、収益確保への取組、費用対効果の効率の良い支出への取組等、急性期医療を担いながらも予定入院を増やしていく等、バランスのとれた経営が必要であると考え。【鈴木事務部長】

(2) 経営情報システムの整備・・・特になし

令和3事業年度業務実績	3	第3期中期目標期間業務実績	3
-------------	---	---------------	---

中項目2 収益の確保と費用の合理化

令和3事業年度業務実績	3	第3期中期目標期間業務実績	3
-------------	---	---------------	---

(1) 収益の確保

令和3事業年度業務実績	3	第3期中期目標期間業務実績	3
-------------	---	---------------	---

- 令和3事業年度業務実績について、入院単価は他の病院に比べて高いことは評価できる。外来関係の診療収入が低く感じ、総務省の決算統計資料の要約版である病院経営比較表と金額に差

異が生じているため、要因を調べていただきたい。

●令和3事業年度業務実績について、補助金収益を法人はどのように考えるか。

⇒補助金を貰えてよかったと喜ぶことではなく、補助金が無ければ令和3年度も10億程度の赤字となっていたため、本質的な経営体質の改善を図る必要があると考えている。【鈴木事務部長】

(2) 費用の合理化

令和3事業年度業務実績	3	第3期中期目標期間業務実績	2
-------------	---	---------------	---

●令和3事業年度業務実績について、「3」と評価した根拠をお伺いしたい。劇的に計画値を上回ることは難しいと認識しており、実績からすると十分評価に値すると思うが、どのように考えているのか。

⇒内部の幹部職員を含めて検討し、計画値を達成できなかったため、「3」と評価した。【鈴木事務部長】

⇒内部においては、経営の健全化に高い意識をもって取り組んでいる。更なる改善に努めていくという意思表示として受け取ってもらいたい。【河野理事長】

(3) 経常収支・資金収支の進捗管理

令和3事業年度業務実績	3	第3期中期目標期間業務実績	3
-------------	---	---------------	---

●令和3事業年度業務実績について、人件費が減少していることから、経費内の委託料の内容は人件費的な性質をもった委託であるか。

⇒委託内容と金額についてご説明すると、医事業務委託が307,980千円、検体検査試薬調達業務が164,932千円、患者給食委託業務が109,840千円となっている。給与比率を無理に下げたため、医事業務や給食業務を委託しているわけではないが、経営のバランスを考慮し、委託している。【鈴木事務部長】

●支払寄付金の100,712千円の内容をお伺いしたい。

⇒内訳として、学校法人慈恵大学への千葉県医師少数区域等医師派遣促進事業が25,000千円、千葉大学への医学研究院地域医療奨学金が75,712千円となっている。【鈴木事務部長】

■令和3事業年度業務実績

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置 3

■第3期中期目標期間業務実績

第5 その他業務運営に関する重要事項 3

中項目1 財政負担の原則【※評価対象外】

中項目2 地域に対する広報

令和3事業年度業務実績	3	第3期中期目標期間業務実績	3
-------------	---	---------------	---

中項目3 ボランティアとの協働

令和3事業年度業務実績	3	第3期中期目標期間業務実績	3
-------------	---	---------------	---

第1号議案採決

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとすべき措置…大項目評価「4」に決定

- 1 救急医療…中項目評価「4」に決定
- 2 地域の中核病院として担うべき医療…中項目評価「4」に決定
- 3 高度専門医療…中項目評価「4」に決定
- 4 安全・安心で信頼される医療…中項目評価「3」に決定
- 5 患者・住民サービスの向上…中項目評価「3」に決定
- 6 地域医療への貢献…中項目評価「4」に決定
- 7 メディカルセンターの段階的な診療科の開設と病棟の開設…中項目評価「4」に決定

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとすべき措置…大項目評価「3」に決定

- 1 効率的かつ効果的な業務運営体制の整備…中項目評価「2」に決定
- 2 人材の確保…中項目評価「3」に決定
- 3 人材育成…中項目評価「3」に決定
- 4 働きやすい職場環境の整備…中項目評価「3」に決定
- 5 職員給与の原則…中項目評価「2」に決定

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとすべき措置…大項目評価「3」に決定

- 1 健全な経営基盤の確立…中項目評価「3」に決定
- 2 収益の確保と費用の合理化…中項目評価「3」に決定

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとすべき措置…大項目評価「3」に決定

- 1 財政負担の原則…【評価対象外】
- 2 地域に対する広報…中項目評価「3」に決定
- 3 ボランティアとの協働…中項目評価「3」に決定

全体評価

大項目別の評価を踏まえ、評価B「概ね計画どおりに進んでいると認められる」に決定。

第2号議案採決

第1 中期目標の期間…【評価対象外】

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項…大項目評価「4」に決定

- 1 救急医療…中項目評価「4」に決定

- 2 地域の中核病院として担うべき医療…中項目評価「4」に決定
- 3 高度専門医療…中項目評価「4」に決定
- 4 安全・安心で信頼される医療…中項目評価「3」に決定
- 5 患者・住民サービスの向上…中項目評価「3」に決定
- 6 地域医療への貢献…中項目評価「4」に決定
- 7 メディカルセンターの段階的な診療科の開設と病棟の開設…中項目評価「4」に決定

第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項…大項目評価「3」に決定。

- 1 効率的かつ効果的な業務運営体制の整備…中項目評価「2」に決定
- 2 人材の確保…中項目評価「3」に決定
- 3 人材育成…中項目評価「3」に決定
- 4 働きやすい職場環境の整備…中項目評価「3」に決定
- 5 職員給与の原則…中項目評価「2」に決定

第4 財務内容の改善に関する事項…大項目評価「3」に決定

- 1 健全な経営基盤の確立…中項目評価「3」に決定
- 2 収益の確保と費用の合理化…中項目評価「3」に決定

第5 その他業務運営に関する重要事項…大項目評価「3」に決定

- 1 財政負担の原則…【評価対象外】
- 2 地域に対する広報…中項目評価「3」に決定
- 3 ボランティアとの協働…中項目評価「3」に決定

全体評価

大項目別の評価を踏まえ、評価B「概ね計画どおりに進んでいると認められる」に決定。

議事・第3号議案 令和3事業年度財務諸表に対する意見聴取について

確認内容

1 合規制の遵守

- 監事の監査報告書でも指摘されているが、令和3事業年度は新型コロナウイルス感染症対策補助金があったため、財務状況が改善されたが、繰越欠損金が約23億円強は処理されていないことから、経営基盤が盤石であるとは言い難い。経営改善の努力は評価しているが、より一層の経営体質の強化を行っていただきたい。

2 表示内容の適正性・・・特になし

第3号議案採決

財務諸表に対する意見聴取の方針における確認内容として、合規性の遵守については、提出期限の遵守、必要書類の提出がなされている。

表示内容の適正性については、記載すべき項目について、明らかな遺漏はなく、計数の整合、書類相互間における数値整合がとれている。

なお、監事の監査報告書で指摘された課題等に対する対応策の検討などは必要となるが、財務諸表に対する意見聴取の方針に照らし、令和3事業年度財務諸表については承認することが適当である旨の評価委員会としての意見書を、委員からの意見などを付したかたちで作成することとする。

⇒了承